

20 定期点検整備基準値

定期点検整備基準値	20 - 2
エンジン関係	20 - 2
シャシー関係	20 - 4
定期点検作業要領	20 - 6
減速時排気ガス減少装置の機能	20 - 6
排気ガス再循環装置の機能 (2L-TE)	20 - 6

定期点検整備基準値

エンジン関係

(1/2)

項 目		エンジン型式		1G-FE	2L-TE
V ベルト たわみ量 および張力 (押力98N {10kgf})	オルタネーター ベルト (2L-TEは 1本当たり)	たわみ量 [mm]	新品時	11~13	7~10
			点検時	14~18	10~14
		張 力 [N {kgf}]	新品時	540~635 {55~65}	440~540 {45~55}
			点検時	245~390 {25~40}	195~345 {20~35}
	A/Cベルト	たわみ量 [mm]	新品時	7~8.5	13~17
			点検時	9~11	17~21
		張 力 [N {kgf}]	新品時	540~635 {55~65}	440~540 {45~55}
			点検時	295~390 {30~40}	195~345 {20~35}
	P/Sベルト	たわみ量 [mm]	新品時	5.5~7	8~10
			点検時	7~9	10~15
		張 力 [N {kgf}]	新品時	440~540 {45~55}	←
			点検時	195~345 {20~35}	←
バ ッ テ リ - 液 比 重 (液温 20℃)		基準値	1.25~1.29	←	
		液槽差	0.04 未満	←	
点 火 時 期 [°BTDC] / [r/min]	T _c ↔E ₁ 端子間短絡	M/T	8~12/700±50	—	
		A/T	8~12/650±50	—	
	T _c ↔E ₁ 端子間開放	M/T	7~24/700±50	—	
		A/T	7~24/650±50	—	
噴射時期 (TDC 静止) プランジャーリフト量 [mm]			—	刻線合わせ	
噴 射 圧 力 [MPa {kgf/cm ² }]			—	14.22~15.20 {145~155}	
アイドル回転数 (Nレンジ, 無調整式) [r/min]		M/T	650~750	650~700	
		A/T	600~700		
アイドルCO濃度 [%]			1.0 以下	—	
アイドルHC濃度 [ppm]			800 以下	—	
ディーゼルスモーク濃度 [%]			—	40 以下	
バルブクリアランス (冷間時) [mm]		IN	0.15~0.25	0.20~0.30	
		EX	0.25~0.35	0.40~0.50	
シリンダーヘッド締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]			63.7 {650}	※1	
インテークマニホールド締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]			17.7 {180}	※2	
エキゾーストマニホールド締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]			25.5 {260}	※2	
圧 縮 圧 力 (250r/min 時) [MPa {kgf/cm ² }]		基準値	1.27 {13.0}	3.04 {31.0}	
		限 度	0.98 {10.0}	1.96 {20.0}	
		気筒差	0.1 {1.0} 以下	0.49 {5.0} 以下	
ス パ ーク プ ラ グ ギ ャ ッ プ [mm]		基準値	1.0~1.1	—	
		限 度	—	—	
ラジエーターキャップ開弁圧 [kPa {kgf/cm ² }]		基準値	74~103 {0.75~1.05}	93~122 {0.95~1.25}	
		限 度	56 {0.6}	78 {0.8}	

※1. 塑性域締め付けのため点検不要

※2. メタルガスケット使用のため点検不要

(2/2)

項目		エンジン型式	1JZ-GE	2JZ-GE	1JZ-GTE
Vリブドベルト 張力点検	オルタネーター・ A/C・P/Sベルト		インジェクターにて点検 (無調整式)		
バッテリー液比重 (液温 20°C)		基準値	1.25~1.29	←	←
		液槽差	0.04 未満	←	←
点火時期 [° BTDC] / [r/min]	T _c ↔CG (1JZ-GE) T _{R1} ↔E ₁ (除く 1JZ-GE) 端子間短絡	M/T	—	—	8~12/700 ± 50
		A/T	8~12/650 ± 50	←	←
	T _c ↔CG (1JZ-GE) T _{R1} ↔E ₁ (除く 1JZ-GE) 端子間開放	M/T	—	—	8以上/700 ± 50
		A/T	5以上/650 ± 50	←	8以上/650 ± 50
アイドル回転数 (Nレンジ, 無調整式) [r/min]		M/T	—	—	650~750
		A/T	600~700	←	←
アイドルCO濃度 [%]			1.0 以下	←	←
アイドルHC濃度 [ppm]			800 以下	←	←
バルブクリアランス (冷間時) [mm]		IN	0.15~0.25	←	←
		EX	0.25~0.35	←	←
シリンダーヘッド締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]		塑性域締め付けのため点検不要			
インテークマニホールド締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]		メタルガスケット使用のため点検不要			
エキゾーストマニホールド締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]					
圧縮圧力 (250r/min時) [MPa {kgf/cm ² }]		基準値	1.27 {13.0}	1.32 {13.5}	1.23 {12.5}
		限度	1.08 {11.0}	1.13 {11.5}	0.88 {9.0}
		気筒差	0.1 {1.0} 以下	←	←
スパークプラグギャップ [mm]		基準値	1.0~1.1 ※1	←	←
		限度	1.3	←	←
ラジエーターキャップ開弁圧 [kPa {kgf/cm ² }]		基準値	74~103 {0.75~1.05}	←	←
		限度	59 {0.6}	←	←

※1. 白金プラグ使用のため調整不要

シャシー関係

(1/2)

項 目		車両型式		E-GX100 KD-LX100	E-JZX100 E-JZX101	E-JZX105
ステアリングホイールの遊び (ステアリングホイール外周にて) [mm] (油圧作動時)				0~30	←	←
フロントホイール アライメント	サイドスリップ (1mにつき) [mm]			0~5	←	←
	トーイン点検基準値 [mm]			1 ± 2	←	0 ± 2
	キャンバー点検基準値 [度]			0°00' ± 45'	0°00' ± 45' -0°15' ± 45' (ツアラ- S, ツアラ- V) (ルラー- N, ルラー- NG)	-0°15' ± 45'
	キャスター点検基準値 [度]			5°45' ± 45'	←	4°30' ± 45'
	キングピンアングル 点検基準値 (参考値) [度]			9°00' ± 45'	←	8°45' ± 45'
リヤホイール アライメント	トーイン点検基準値 [mm]			2 ± 2	←	←
	キャンバー点検基準値 [度]			-0°30' ± 45'	-0°30' ± 45' -0°40' ± 45' (ツアラ- S, ツアラ- V) (ルラー- N, ルラー- NG)	-0°15' ± 45'
ブレーキペダル [mm]	遊 (負圧なしの状態)			1~6	←	←
	踏み残りしろ (踏力 490N {50kgf}) (エンジンONの状態)			82以上	←	←
パーキング ブレーキ	レバー引きしろ [ノッチ数] (レバー式, 操作力 196N {20kgf})			5~8	←	—
	ペダル踏みしろ [ノッチ数] (足踏み式, 操作力 290N {30kgf})			5~7	←	←
	ブレーキの 効き具合	制動力	検査時車両重量の 20% 以上			
ブレーキライニングの厚さ [mm]	基準値			2.0	←	←
	限度			1.0	←	←
ブレーキドラムの内径 [mm]	基準値			176.0	←	←
	限度			177.0	←	←

(2/2)

項 目		車両型式		E-GX100 KD-LX100	E-JZX100 E-JZX101	E-JZX105
		前 輪	後 輪	基 準 値	限 度	基 準 値
ディスクブレーキ パッドの厚さ [mm]	前 輪	基 準 値		12.0	11.0	←
		限 度		1.0	←	←
	後 輪	基 準 値		12.0	10.0 12.0 (ツアラ-V, ルラーンG)	10.0
		限 度		1.0	←	←
ディスクブレーキ ローターの厚さ [mm]	前 輪	基 準 値		22.0	25.0 32.0 (ツアラ-V, ルラーンG)	25.0
		限 度		20.0	23.0 30.0 (ツアラ-V, ルラーンG)	23.0
	後 輪	基 準 値		10.0	10.0 16.0 (ツアラ-V, ルラーンG)	10.0
		限 度		9.0	9.0 15.0 (ツアラ-V, ルラーンG)	9.0
ブレーキの効き具合 (注) 前輪のすべての車輪がロックし、計測困難な場合は、その状態で総和に対して適合するものとみなす。		制 動 力	後 輪 和	軸重の 10%以上		
			各輪左右差	軸重の 8%以下		
			総 和	検査時車両重量の 50%以上		
クラッチペダル [mm]	遊 び (ペダル上にて)			5~15	←	—
	切れ残りストローク			25以上	←	—
ホイールベアリング ハブ軸方向の動き量 [mm]		前 輪		0.05以下	←	←
		後 輪		0.05以下	←	←
ホイールナットの締め付けトルク [N・m {kgf・cm}]				103 {1050}	←	←
タイヤ残り溝 [mm]				1.6まで	←	←
タイヤ空気圧				別表参照		

タイヤ空気圧 (一般, 高速とも同じ) [kPa {kgf/cm²}]

タイヤサイズ	前 輪	後 輪
185/70R14 88S	210 {2.1}	
195/65R15 91H	200 {2.0}	
205/65R15 94H	190 {1.9}	
205/60R15 91H	200 {2.0}	
205/55R16 89V	230 {2.3}	
225/50R16 92V	—	240 {2.4}

定期点検作業要領

ここに記載されていない項目については、トヨタ定期点検作業要領説明書（品番 69644，1995年5月発行）に従って作業を行う。

減速時排気ガス減少装置の機能

フューエルカット装置

M/T車

- (1) エンジンを暖機後、ダッシュポットを作動させないようにし、インジェクターに指を当ててエンジン回転数を3500r/min以上まで上げスロットルレバーを戻したとき、インジェクターの作動による振動が一瞬止まることを確認する。

A/T車

- (1) エンジンを暖機後、インジェクターに指を当ててエンジン回転数を3500r/min以上まで上げスロットルレバーを戻したとき、インジェクターの作動による振動が一瞬止まることを確認する。

排気ガス再循環装置の機能（2L-TE）

- (1) エンジン暖機後、アイドル運転状態でEGRバルブのパキュームホースに負圧がかかっていることを確認する。
- (2) エンジン回転数を約1500r/minに上げたとき、EGRのパキュームホースに負圧がかかっていることを確認する。
- (3) 水温55℃以下のアイドル運転状態で、EGRバルブのパキュームホースに負圧がかかっていないことを確認する。
なお、パキュームホースにかかる負圧の確認は、EGRバルブ側のパキュームホースにパキュームゲージを取り付けて行う。
パキュームゲージの取り付けはエンジン停止状態で行う。